

鳥取 YEG 通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP



発行：平成30年11月15日
鳥取商工会議所青年部
総務広報委員会

11

鳥取商工会議所青年部通信 November 2018

■平成30年度 会長あいさつ



鳥取商工会議所青年部
会長 杉内 勝成
有限会社 杉内

深秋の候、会員企業の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

はじめに、10月6日に開催を予定しておりました、鳥取商工会議所青年部創立40周年記念大会は、台風25号の影響によりやむなく延期とさせて頂いておりました。関係各位の皆様と講演会を楽しみにされていた皆様には、多大なご迷惑をおかけしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。なお、同大会につきましては、後日開催する予定です。日程等詳細が決定しました際には改めてご案内いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

なお、同日開催予定でありました10月例会ですが、10月31日に開催いたしましたので、YEG通信12月号にて報告とさせて頂いていただきます。

朝夕冷え込む季節となり、赤や黄色に色づきはじめて木々が山や街の景色を彩っています。四季折々移ろいゆく季節の中、日本人は春の桜と共に、秋の紅葉も深く親しんでおり、昔から様々な短歌や俳句に詠み込まれていいます。また、近年では外国人観光客も増加し、各名所は多くの観光客で賑わっておりますが、地元のお寺の庭や山々を眺め、ゆつくりと風情を楽しむのも、自然豊かな鳥取を感じる贅沢な時間の過ごし方の一つかと思えます。

さて、10月18日、鳥取県青連主催、日本YEG研修委員会主管による「日本商工会議所青年部フレッシュアップ事前研修会IN鳥取県連」が、湯梨浜町の「千年亭」で開催されました。この事業は、今年で16回目を迎える日本Y

EGの伝統行事である「ビジネスプランコンテストII BPC」(新規事業の創造・販路拡大に関する研修会)に向けた事前研修会で、日本YEG研修委員会が全国津々浦々を奔走し、BPCの周知、参加者の拡充、プランの募集を行っております。その中でも、講師の宇和島YEG 中川秀樹君(平成29年度日本YEG・BPC準グランプリ受賞者)「地にぎりグランプリ」の話はとても興味深い内容でした。

地元特産の食材を使ったおにぎりを「地にぎり」と命名し、一般からアイデアを募り、地域の食文化や歴史を発信し、その輪を全国に広げていく計画で、すでに大手コンビニと提携して入賞作品の商品化もされています。日本YEG主催のBPCでは、思い描くビジネスプランを明文化し、事業化するまでのプロセスを学ぶことのできる機会を提供しています。

今年度の募集は終了しましたが、次年度は鳥取YEGからエントリーされることを期待しております。

そして、10月20日、鳥取産業会館竣工10周年と鳥取YEG創立40周年を記念し、「鳥取産業会館フェスタ」を開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、多くの来場者をお迎えすることができました。親会はもとより地元商店街の皆様には、多大なるご支援ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。この事業は、中心市街地の活性化と会員企業の更なる発展につなげることを目的に、ビジネス創造委員会が企画運営しました。来場者の皆様には、各企業の商品や仕事にふれていただき、魅力を感じてもらえたと幸いです。商工会議所青年部「綱領」の一文に「豊かで住みよい郷土づくりに貢献する」とあります。これからは、地域活性化に貢献できる事業を展開していきたいと思っております。

今後、YEG活動の可能性と素晴らしさを、より多くの皆様を知っていただくため努力して参ります。会員企業の皆様には引き続きのご理解ご協力をよろしくお願ひいたします。

擬宝珠橋完成 セレモニーに参加

10月8日(月)、「擬宝珠橋完成セレモニー」が開催され、鳥取YEGは奴隊として参加しました。

本来であれば、9月30日に開催される予定だった「第19回鳥取三十二万石お城祭り」で時代行列、奴踊りを披露する予定で、日々練習を重ねておりましたが、台風24号の接近のため、残念ながら祭りは中止となり、今回「擬宝珠橋完成セレモニー」の渡り初めへの参加となりました。

当日は、少し汗ばむほどの快晴のもと、多くの市民が見守る中、セレモニーが開催されました。国指定史跡の城郭での復元橋では国内最長となる「擬宝珠橋」。テープカットの後、奴隊隊長の掛け声にあわせ、往時の賑わいに思いをはせつつ、ゆつくりと行進しました。

「鳥取三十二万石お城まつり」へは、第1回より多くのYEGメンバーが事業へ関わってまいりました。諸先輩方の思いを引き継ぎ、今後より一層「鳥取三十二万石お城まつり」を盛り上げていきたいと思う渡り初めとなりました。

鳥取まち興し委員会
委員長 富田 光政



メンバーによる奴隊



鉄砲隊による演舞射撃

まちなか拠点整備事業
第1回設計WSを開催

9月25日（火）、鳥取城北高等学校の志学科2年生88人と鳥取のまちなかへ学生の拠点を作ろう！という趣旨の下、第1回設計WS（ワークショップ）を行いました。

この事業は、「学生が街とそこに暮らす人と関わり、情報を発信・共有できる場所」を中心市街地につくり、また学生同士が学校の枠を超えた仲間との繋がりをつくること。さらにはイベントの開催などを通じ、中心市街地の賑わいを取り戻す場所として、活性化の拠点となることを目指します。また学生たちが開催されるイベントへ参加し、鳥取の魅力に気づいてもらうことも、目的の一つとなっております。

今回、拠点として日本財団まちなか拠点の2階を利用していただく予定となっております。第1回WSでは、この空間を一緒につくりあげていくためどうしていくか、7グループに分かれて意見交換しました。その中で「やはり若さはすばらしい！」と驚くような、柔軟な発想のアイデアがたくさん提案され、熱く若いエネルギーを感じるとともに、第2回設計WSではこのアイデアをブラッシュアップさせ、より良いものへ変えていきたいと感じました。

鳥取まちなか興し委員会一同、鳥取の将来を担う若者のため「まちなか拠点整備事業」を成功させたいと思います。

鳥取まちなか興し委員会委員長 富田 光政



事業内容の説明



ワークショップの様子

R53ゴルフ大会

9月22日（土）に岡山・津山YEGとの交流イベント、第2回R53親睦ゴルフコンペを津山市の久米カントリークラブで実施いたしました。

昨年度、事業としては一旦幕を閉じたR53レレシオン交流会ですが、せっかく構築した関係性まで終わらせるのはもったいなく、CGF（ゴルフ同好会）が音頭を取り、3単会でゴルフを通じ大いに交流を図りながら、「情報交換」「情報提供」「情報共有」という、元々あった事業の趣旨を果たすことができましたと思います。

当日は、事前の予報とは裏腹にとっても良い天気の中、心地よい汗をかきながら（私は冷や汗）のラウンドとなりました。随所に好プレー・珍プレーも続出し、初対面の方々もすぐに打ち解ける事ができ、笑いの絶えないラウンドとなりました。

今回は、各員に加えて単会対抗戦も実施。優勝は岡山YEGの皆様でした。景品トロフィーと二十世紀梨、そして次年度の幹事券を見事にゲットされました。来年は鳥取YEG一同、多くのメンバーで岡山に遠征しましょう。ただ優勝単会が次回の幹事をするシステムですと、鳥取単会は永久に幹事になれないのではないかとこの噂もありました。次回は上級者の方は必ずご参加ください。

また、表彰式後は場所を変えて、3単会で懇親会を行いました。一緒にラウンドしたこともあり、すぐに皆が打ち解け、とても濃い交流ができました。ゴルフのお返しとばかり、鳥取メンバーも懇親会では存在意義を大いに発揮しておりました（笑）。

改めまして、今回の趣旨にご賛同いただき、ご参加いただいた岡山YEG・津山YEGの皆様、CGFメンバーの皆様、大変ありがとうございました。来年必ず再会しましょう。

鳥取YEG CGF会長

森下 大輔



優勝トロフィー



集合写真



ブービー井上

交代会員



河田 圭太 君
(かわた けいた)
事業所名 (株)鳥取銀行
所属委員会 ビジネス創造委員会